



学校だより ながや

令和2年度 第4号
令和2年 6月30日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

新しい日常を受け入れる

副校長 大島 恵子

7月になり、夏空がまぶしい季節となりました。三か月続いた臨時休校が終わり、段階的にはありましたが、6月に学校が再開しました。新しい生活様式を取り入れた学校生活は、子どもたちにとって、最初のうちは過ごしづらいつと感じる部分もあったかもしれません。しかし、子どもたちの環境に順応していく力は高く、この生活様式にも慣れてきたように感じます。友達との距離を考えて行動する、マスクをつける、手洗いの徹底等のことが特別なことではなく、少しずつ日常のことになってきました。

休校中は、学校に通えない、友達や先生にも会えない、こうした不安や寂しさで、気持ちがいぼんでしまっていたお子さんもいたかと思います。また、ご家庭で過ごす時間が長かったために、学校が再開した際には、登校して学校で学習するという生活の変化に戸惑いを感じるお子さんもいたかもしれません。今まで経験したことのない状況の中で、子どもたち一人ひとりが感じた心の変化に寄り添い、支えてくださった保護者の皆様には深く感謝しております。ありがとうございます。

今、学校には子どもたちのたくさんの笑顔があふれています。マスクをしていてもわかる子どもたちの笑顔に、大人の私たちが元気もらっています。また、久しぶりの学校にまだ少しなじめなくて心配そうな表情を見せる子もいます。一人ひとり、子どもの思いは様々ですが、いろいろな思いをもちながらも、学校が再開し、子どもたちが朝、登校してくる、子どもたちが学校にいる、このあたりまえの日常に感謝をしながら私たちは毎日過ごしています。

7月からは、学校給食が再開されます。外遊びや掃除など、休校以前に通常行っていた活動も新しい生活様式を取り入れながら再開されます。制約があったり、新しく加える活動があったりするなど、今までとは変わってきた部分もあるかと思いますが、受け入れてそれを日常としていきたいと思ひます。



今後も、行事や学習活動の中で例年通りではなく、変更せざるを得ないことも出てくるかと思ひます。今の状況の中で、子どもたちにとって何がベストなのかを考え、保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきながらできることを進めていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。